

事務事業評価シート

平成 29 年 3 月 1 日作成

評価対象	平成	27	年度	評価実施	平成	28	年度	97	政策体系	5	35	134	予算区分	一般	1	1	1	23
------	----	----	----	------	----	----	----	----	------	---	----	-----	------	----	---	---	---	----

事務事業名	議会だより発行事業					担当	課所名	議会事務局				
						課所	担当係名	書記				
総合振興計画 上の政策体系	政策	5	人口を増加させ、住民が生き生きと暮らす活気あるまちづくり			事業区分	新規事業・継続事業		継続事業			
	基本施策	35	住民参加によるまちづくり				実施計画事業・一般事業		一般事業			
	基本事業	134	情報公開の推進・個人情報の保護				総合戦略事業該当		非該当			
			No. 23 議会広報印刷製本費				単独事業・補助事業		単独事業			
予算区分	会計	款	項	目	大事業名							
	一般	1	1	1	No. 23 議会広報印刷製本費							
事業計画	単年度繰返し	事業期間	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成	17	～ 平成	根拠法令、 例規・要綱						

1 事務事業の現状把握【Plan、Do】

(1) 事務事業の手段・目的、指標

手段	① 本事務事業の主な実施内容等を記入してください。								
	事業概要(具体的な事務事業の実施内容・進め方)			平成27年度実績(平成27年度に実施した事業内容)					
	議会だよりを各定例会後に発行し、町内全世帯に配布する。議会ホームページにも掲載する。			議会だよりを各定例会後に発行し、町内全世帯に配布した。議会ホームページにも掲載した。議案等について、審議結果を掲載するとともに、各議員の一般質問を各議員が要約し掲載した。					
	活動指標		単位	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)	30年度(見込)	31年度(見込)	
発行部数		部	18,000	18,000	18,000				
発行回数		回	4	4	4				
目的	② 対象(本事務事業は、誰・何を対象としているのかを記入してください。)								
	町民		対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)	30年度(見込)	31年度(見込)
	町人口		人	12,371	12,200	12,050			
	③ 意図(本事務事業により、対象をどのような状態・状況にしたいのかを記入してください。)								
議会の活動を知っていただき、議会に関心を持っていただく。			成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)
議会傍聴者数			人	144	150	155	160	165	
④ 結果(本事務事業をどのような結果に結びつけるのかを記入してください。)									
町民に信頼され、開かれた議会になる。			上位成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)
請願・意見書案提出件数			件	1	4	4			

(2) 事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,100	1,160	1,297			
	事業費計	千円	1,100	1,160	1,297	0	0	
	事業費の内訳	千円	節	事業費	節	事業費	節	事業費
			11	1,100	11	1,160	11	1,297
	トータルコスト		千円	1,100	1,160	1,297	0	0

(3) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて実施した具体的な改革・改善の取組について記入してください。(事業終了の場合は記入不要)
	この欄は、「平成27年度事務事業に対する評価」を踏まえた平成29年度に実施する取組について、平成29年度に実施する事務事業評価において記入

2 視点別評価【Check】

目的 妥当性 の評価	① 政策体系との整合性(本事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?)	
	政策体系外の事務事業である	理由・改善案
	② 公共関与の妥当性(本事務事業は、町が実施しなければならないですか? 民間等に委ねることはできませんか?)	
有効性 の評価	A1 町が実施しなければならない	理由・改善案
	③ 対象・意図の妥当性(本事務事業の現状や成果から考え、対象や意図を見直す必要がありますか?)	
効率性 の評価	A 妥当である	理由・改善案
	④ 事務事業の成果向上の余地(本事務事業の成果は出ていますか? 内容や進め方などを見直すことで成果を向上できますか?)	
	B 成果向上の余地がある程度ある	理由・改善案
公平性 の評価	⑤ 類似する事務事業との統合・連携の可能性(類似の目的や活動形態を持つ事務事業がほかにありますか? ある場合、統合・連携の可能性等は?)	
	A1 類似する事務事業はない	理由・改善案
終了等 の条件	⑥ 事業費・人件費の削減余地(本事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減させることができますか?)	
	A 削減の余地はない	理由・改善案
⑦ 受益者負担の適正化余地(本事務事業の受益者は誰ですか? 目的や成果から考え、受益者負担を見直す必要性がありますか?)		
A1 受益者負担は求める必要がない		
⑧ 事務事業の終了・休止・縮小の条件・可能性(本事務事業は、どんな状況・状態になれば終了等(終了・休止・縮小)となりますか?)		

3 視点別評価結果に基づく総括と今後の方向性等【Action1】

(1) 今後の事務事業の方向性 (上記「2 視点別評価」の『②～⑦』においてB、C、Dのいずれか』を選択し、改善等が必要と評価したものを4項目まで記入してください。)	
④ 内容・進め方を見直す(見直した方がよい)	
(2) 上記(1)に基づいた改革・改善案等を記入してください。(事務事業終了の場合は記入不要)	
町民が読みやすく、また、関心を持ってもらう紙面にするため、現在の単色刷りから二色刷りに変更する。	
(3) 上記(2)を実現する上で、解決すべき課題・障壁、また、その解決策等を記入してください。	(4) 今後の事務事業の方針
	C 来年度、改善・見直しを実施する

4 内部評価における総括【Action2】

2及び3の結果を踏まえた総括事項、特記事項等を記入してください。(3の(4)で「A現状維持、D事務事業終了」を選択した場合の理由等も記入)
議会だよりを二色刷りにすることにより、町民に関心を持って読んでいただく。町民により議会活動を知っていただくことにより、議会に関心を持っていただき、さらには信頼される議会を目指す。